

■ちーびし

○執筆者紹介

- ①生年・出身地、②所属、③専門領域、④研究業績、
⑤奄美と関係した活動
の順番で掲載しております。

■采女 博文（うねめ ひろふみ）

- ①1952年・鹿児島県
②鹿児島大学法文学部法政策学科市民法講座教授
③民法学
④「ハンセン病訴訟熊本地裁判決について」鹿大法学
論集36巻2号、2002年、「環境と法」三好充他編
『現代社会と法』嵯峨野書院、2001年、「水俣病と
行政の民事責任」鹿大法学論集33巻1号、1998年

■桑原 季雄（くわはら すえお）

- ①1955年・鹿児島県
②鹿児島大学法文学部人文学科地域環境講座教授
③文化人類学、東南アジアの文化人類学
④「ヤップ島における観光化と伝統文化」『人文学科
論集』第54号、2001
『薩南諸島』共著、鹿児島大学多島研センター、2001
「マレーシアにおける母系社会とジェンダー」『人文
学科論集』第52号、2000

レビュー、同志社大学ワールドワイドビジネス研究
センター、4（3）、2003年3月、pp.161-177

2）「環境問題の仮想現実」、（坂井利之編『高度情
報化社会のガバナンス』、N T T 出版、第5章、
pp.138-162、2003年3月）

- ⑤「九州離島地域における循環型社会形成推進のため
のリサイクル財排出・物流及び処理実態調査」（2002
年度、九州経済産業局）、検討委員会副委員長
その他、主にゴミ問題とエコツアーに関して調査を
行なっている。



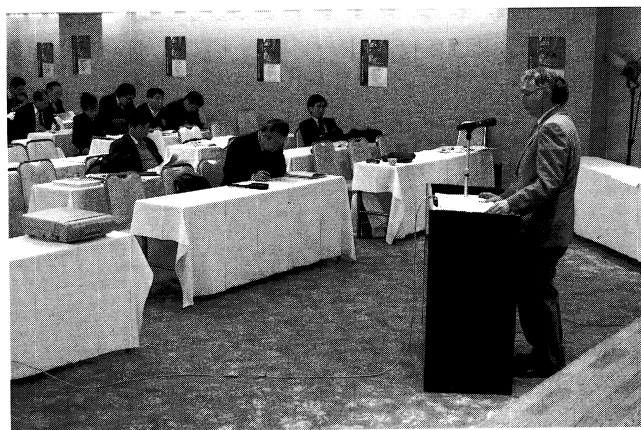
■坂田 裕輔（さかた ゆうすけ）

- ①1971年・大阪府
②鹿児島県法文学部経済情報学科国際協力講座助教
授（2004年4月より近畿大学経済学部助教授）
③環境経済学
④1）「持続可能な地域開発を支援するための地域通
貨システムのデザイン」、ワールドワイドビジネス

○編集後記

■ 第3号を送り出すことが可能となりました。今回は、1月31日に名瀬市で開催されました公開シンポジウム「新しい奄美世界の創出」の写真を掲載しております。今月号の各所に写真をつかっておりますが、お名前のわからない方が多く、写真に登場された方々の承諾をえておりません。ここにお詫び申し上げます。シンポジウムは、奄美に鹿児島大学が改めて注目し、新しい観点で奄美群島区を描きなおそうという試みです。会場の熱気が伝わればと思っております。島嶼スケッチの平井氏の案内をお読みください。

■ 研究調査レビューは、法律、文化人類学、経済という3つの領域からなりたっております。采女氏のとりあげた入会権という問題は瀬戸内町など奄美大島でホットな話題になっていると思われます。また、桑原氏の復帰前の文献発掘は沖縄と奄美との比較をおこなううえで有意義な観点を提示したものです。



研究責任者 山田 誠

奄美ニューズレター

発行 鹿児島大学

編集責任者 萩野 誠

AMAMI News Letter

印刷 南日本共同印刷株式会社